

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公 開 特 許 公 報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2023-146921
(P2023-146921A)

(43)公開日 令和5年10月12日(2023. 10. 12)

(51)Int.Cl.			F I		テーマコード (参考)	
C 1 2 Q	1/689	(2018. 01)	C 1 2 Q	1/689	Z	2 G 0 4 5
C 1 2 Q	1/686	(2018. 01)	C 1 2 Q	1/686	Z Z N A	4 B 0 6 3
G 0 1 N	33/50	(2006. 01)	G 0 1 N	33/50	Z	
G 0 1 N	33/569	(2006. 01)	G 0 1 N	33/569	B	
G 0 1 N	33/53	(2006. 01)	G 0 1 N	33/53	M	
審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 20 頁) 最終頁に続く						
(21)出願番号	特願2022-54362(P2022-54362)		(71)出願人	598015084		
(22)出願日	令和4年3月29日(2022. 3. 29)			学校法人福岡大学		
				福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号		
			(71)出願人	510136312		
				国立研究開発法人国立成育医療研究センター		
				東京都世田谷区大蔵2-10-1		
			(74)代理人	100145403		
				弁理士 山尾 憲人		
			(74)代理人	100145104		
				弁理士 膝館 祥治		
			(72)発明者	宮本 新吾		
				福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号		
				学校法人福岡大学内		
				最終頁に続く		

(54)【発明の名称】 胎児感染の検出方法

(57)【要約】

【課題】胎児感染の検出方法を提供する。

【解決手段】妊娠中の対象に由来する試料に含まれる細菌量を評価することと、前記細菌量に基づいて、前記試料と対象における胎児感染とを関連付けることと、を含む胎児感染の検出方法である。前記細菌量の評価は、定量PCR法で行われてよく、前記試料中の16Sリボソーム遺伝子のコピー数を測定することを含んでよい。試料は、対象の羊水に由来してよい。

【選択図】図10A

